

第5回 双葉町津波被災地域復興小委員会 議事概要

■日 時：平成27年1月27日（火） 午前10時30分～12時00分

■場 所：双葉町いわき事務所 2階大会議室

■出席者：別紙座席表のとおり

■議事概要

1. 開会

2. 町長あいさつ

3. 議 事

(1) 中間貯蔵施設の建設受入判断について(説明)

資料2に基づき、伊澤町長より報告。

(2) 双葉町津波被災地域復旧・復興事業計画の中間報告への意見と意見を踏まえた修正案について

(3) 双葉町津波被災地域復旧・復興事業計画のとりまとめについて

資料3、4、5、6に基づき、事務局より説明後、質疑。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 住民意向調査で回答していない約3割の世帯の意向は、どのように調査していくのか。
- 中野地区の回答率が少ないことには、理由があるのか。
- 思ったより両竹に帰りたい人が多いと感じた。両竹地区に帰りたい方々は、高齢の方が多く、墓地のことが非常に気になっているが、町として共同墓地について、どのように考えているのか。
- 住民意向調査結果の公表時期は、いつになるのか。
- 両竹地区の土地利用は、農地を対象としているのか、家屋解体後の宅地も含めて対象としているのか。
- 納骨できていない方が多くいるので、なるべく早く共同墓地を決めて欲しい。
- 福島第一原発の作業員の方々の事務所を原発の近くに建てる計画があるようなので、復興産業拠点の計画を早急に立てて、アピールすべきではないか。
- 中浜地区は住めないところとなるが、そのなかで墓地は心のよりどころであり、復興祈念公園のなかに墓地をつくって欲しいという意見もある。住民の気持ちが反映できるよう報告書の中身はある程度弾力性をもって進めてほしい。
- 慰霊碑に前町長の名前だけ書いてあるが、亡くなった方々の名前がない。

- 墓地の移転だけでなく、倒れた墓石の移転も検討すべきではないか。
- 復興の見通しが立たないなかで、墓地の再建については迷っている。早く結論を出して欲しい。
- 復興産業拠点、実現に向け早く動き出していくべきである。
- 住民が納得いく方向で、関連住宅の整備も進めて欲しい。
- 復興祈念公園については、福島県内で複数の自治体が誘致を要請しているが、海岸沿いに複数の自治体でエリアとして公園を整備していくべきではないか。
- 復興産業拠点、太陽光発電、植物工場などは、アイデアを持っている方がいると思うので、方向性が決まったら、具体的に企業と住民との協議を開始するなど早い段階で動き出すべきである。

4. 閉 会

以上

第5回双葉町津波被災地域復興小委員会座席表

(敬称略)

1 日時 平成27年1月27日(火)
10:30~12:00
2 場所 双葉町いわき事務所 2階大会議室

菅本 長林 齊藤
洋 久夫 六郎

課長 駒田 義誌	事務局 (復興推進課)	町長 伊澤 史朗	荒木 茂
課長補佐 細澤 界		副町長 半澤 浩司	
主任主査 橋本 靖治			
副主査 山下 明弘	事務局 (復興推進課)	総括参事 武内 裕美	吉田 正志
主事 西牧 孝幸		総務課長 船来 丈夫	
支援員 米山 治介			
支援員 山中 啓稔	産業建設課長 猪狩 浩		
支援員 由波 大樹	事務局	住民生活課長 松本 信英	
支援員 小山 勲			

増田 聡	復興庁 石川 義浩 参事官補佐
	復興庁 福島復興局 須田 亨 参事官補佐 福島復興局 いわき支所 林 文之 次長 福島復興局 いわき支所 桃原 信明 参事官補佐 福島県 まちづくり推進課 鈴木 勝徳 主幹 福島県 避難地域復興課 駐在員 熊坂 雅彦 副課長(双葉町担当)
平岩 節子	福島県 相双建設事務所 企画調査課 芳賀 英幸 課長 福島県 相双建設事務所 企画調査課 菊地 和良 係長 福島県 相双農林事務所 地域農林企画課 佐藤 健一 主査